



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年8月4日

上場会社名 株式会社フォーラムエンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 7088 URL <https://www.forumeng.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 兼 広報・IR部 (氏名) 風間 直毅 TEL 03 (3560) 5505
 ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,111	7.8	477	7.5	474	11.6	322	11.6
2022年3月期第1四半期	6,599	△9.4	444	221.4	425	208.6	289	207.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	12.55	12.48
2022年3月期第1四半期	11.27	11.18

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,893	11,063	53.0
2022年3月期	20,768	11,974	57.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 11,063百万円 2022年3月期 11,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	48.00	48.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		0.00	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,410	16.7	3,020	64.6	3,000	65.2	2,040	63.3	79.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	26,709,600株	2022年3月期	26,709,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	979,845株	2022年3月期	980,424株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	25,729,239株	2022年3月期1Q	25,659,378株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（2022年4月1日～2022年6月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による制限が緩和される中、経済活動の正常化に向けた動きが見られました。当社の主要顧客である大手製造業においては、地政学リスクの増大による原材料価格の高騰や半導体不足等の影響が継続する中、研究開発への投資は持ち直しの動きが見られております。

このような環境の下、当社は当第1四半期累計期間において、エンジニア人材の需要回復を見据え、収益成長の復活に向けて取り組んでまいりました。主力の派遣エンジニアサービスは、前期上期まで新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少が続いた派遣エンジニアの案件数の回復基調が続いており、稼働人員数、派遣単価は前年同期比で増加いたしました。特に稼働人員数は昨年10月より9か月連続で前年同月を上回っており、当第1四半期累計期間の平均稼働率は97.9%と、前年同期を7.3ポイント上回る高水準となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は7,111百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は477百万円（同7.5%増）、経常利益は474百万円（同11.6%増）、四半期純利益は322百万円（同11.6%増）となりました。

また、当社は、わが国が現在直面している労働力人口の減少等により構造的なエンジニア不足が進む中、エンジニアの流動化を促進するため、AI（人工知能）を駆使し、スキルをベースにしたダイレクトマッチングシステム「コグナビ」各サービスの浸透と拡充に取り組んでおります。

エンジニア派遣サービス「コグナビ 派遣」は、回復基調にある顧客企業の需要に確実に応えるべく、稼働人員数の更なる増加に繋げるため、派遣エンジニアの採用強化に取り組んでおります。

中途採用向けエンジニア紹介サービスである「コグナビ 転職/転職IT」は、企業の採用意欲が次第に回復している中、複数の転職サイトの登録や求人の一括検索が可能な他社サービスとの連携を図り、新規会員数の増加に繋がりました。また、求人掲載数の増加と共に求人応募件数も堅調に推移し、成約数は前年同期を上回りました。

理工系学生のための就職支援サービスである「コグナビ 新卒」は、当第1四半期累計期間の2023年卒会員数が前年同期の2022年卒会員数の2倍以上となり、当サービスを利用して企業に採用された学生数は当第1四半期累計期間末時点で前年同期と比べて3倍に増加しております。また、2024年卒の理工系学生を対象としたセミナーを精力的に実施しており、新規会員数の増加にも注力しております。

エンジニア育成の研修を大学で実施するために両者の連携をサポートするサービス「コグナビ カレッジ」は、専門性の高い職種である機電系エンジニアの研修環境を整えるべく、企業の需要に応じた研修を提携大学で実施し、当第1四半期累計期間の受講者数は前年同期を上回りました。

企業内エンジニア配置最適化サービスである「コグナビ タレントマネジメント」では、利用契約を企業単位だけでなく技術部門など部署単位でもご利用いただけるサービス「部署マネ」を導入した結果、トライアル実施企業並びに導入企業が増加いたしました。

また、当社はエンジニア向け転職支援サービスや理工系学生向け就職支援サービス、並びにエンジニア人材派遣サービスを主とした「コグナビ」ブランドのさらなる認知拡大を図り、採用力を強化するため、前事業年度は実施を控えておりましたマスプロモーションを再開する事とし、本年夏の実施に向けて準備を進めております。

さらに、「コグナビ」のエンジニア向け転職支援サービスや理工系学生向け就職支援サービスのグローバル展開を目的として、当社は6月に海外事業準備室を新たに設置し、調査対象として世界最大のエンジニア人材市場であるインドを選定、インドにおける理工系学生の就職状況やエンジニアの転職状況を取り巻く環境について調査を進めてまいります。

なお、当社はエンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は17,542百万円となり、前事業年度末に比べ182百万円増加いたしました。これは、主に受取手形及び売掛金が180百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,351百万円となり、前事業年度末に比べ57百万円減少いたしました。これは、主に無形固定資産が42百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は20,893百万円となり、前事業年度末に比べ125百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は9,830百万円となり、前事業年度末に比べ1,037百万円増加いたしました。これは、主に未払金が1,412百万円増加した一方で、賞与引当金が775百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は9,830百万円となり、前事業年度末に比べ1,037百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は11,063百万円となり、前事業年度末に比べ911百万円減少しました。これは、主に配当金の支払いにより利益剰余金が912百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は53.0%（前事業年度末は57.7%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,690	13,636
受取手形及び売掛金	3,531	3,712
その他	137	193
流動資産合計	17,359	17,542
固定資産		
有形固定資産	459	446
無形固定資産		
ソフトウェア	547	504
その他	840	840
無形固定資産合計	1,387	1,344
投資その他の資産	1,562	1,560
固定資産合計	3,408	3,351
資産合計	20,768	20,893
負債の部		
流動負債		
短期借入金	5,000	5,000
未払金	1,127	2,539
未払法人税等	153	168
賞与引当金	1,513	737
その他	999	1,384
流動負債合計	8,793	9,830
負債合計	8,793	9,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	117	117
資本剰余金	129	129
利益剰余金	12,658	11,746
自己株式	△930	△929
株主資本合計	11,974	11,063
純資産合計	11,974	11,063
負債純資産合計	20,768	20,893

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	6,599	7,111
売上原価	4,654	4,995
売上総利益	1,944	2,115
販売費及び一般管理費	1,500	1,638
営業利益	444	477
営業外収益		
受取配当金	0	0
受取手数料	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	0	0
営業外費用		
支払利息	3	3
シンジケートローン手数料	0	0
自己株式取得費用	15	0
営業外費用合計	19	3
経常利益	425	474
税引前四半期純利益	425	474
法人税等	136	151
四半期純利益	289	322

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社は、エンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。